

## PART 4 対応編：中毒事故が起こったら 中毒110番・応急手当の基礎知識

応急手当：意識があり、呼吸も脈拍も異常がない場合に行います  
(意識がない、けいれんを起こしているなど、既に重篤な症状がある場合は、直ちに救急車を呼びます)

### 1. 食べた場合・飲んだ場合

・家庭で吐かせることは勧められていない

(吐いたものが気管に入ってしまうことがあり、大変危険！)

絶対に吐かせてはいけないもの

|   |
|---|
| 石油製品(灯油、マニキュア、除光液、液体の殺虫剤など)<br>→ 気管に入ると肺炎を起こす   |
| 容器に「酸性」または「アルカリ性」と書かれている製品(漂白剤、トイレ用洗剤、排水パイプ用洗剤、換気扇用洗剤など)<br>→ 食道から胃にかけての損傷をよりひどくしてしまう |
| 防虫剤の樟脳(しょうのう)、なめくじ駆除剤など<br>→ けいれんを起こす可能性がある   |

・牛乳または水を飲ませて薄める(効果は牛乳のほうが高い)

口の中、食道、胃の粘膜に刺激があり、炎症を起こすものを飲んでしまった場合、化学製品を薄めて、粘膜への刺激をやわらげる

飲ませたほうがよいもの

- ・容器に「酸性」または「アルカリ性」と書かれている製品(漂白剤、トイレ用洗剤、排水パイプ用洗剤、換気扇用洗剤など)
- ・界面活性剤を含んでいる製品(洗濯用洗剤、シャンプー、石けん、台所洗剤など)
- ・石灰乾燥剤、除湿剤など

飲ませると症状が悪化する可能性があるもの

|  |             |
|--|-------------|
| 防虫剤(樟脳(しょうのう)、ナフタリン、パラジクロルベンゼン)<br>→ 牛乳に含まれる脂肪に溶けて、体内に吸収されやすくなる                        | 牛乳 ×        |
| タバコ、タバコの吸殻<br>→ ニコチンが水分に溶けて、体内に吸収されやすくなる   | 牛乳 ×<br>水 × |
| 石油製品(灯油、マニキュア、除光液、液体の殺虫剤など)<br>→ 吐きやすくなり、吐いたものが気管に入ると肺炎を起こす、牛乳に含まれる脂肪に溶けて、体内に吸収されやすくなる | 牛乳 ×<br>水 × |

2. 吸い込んだ場合

きれいな空気のある場所へ移動する

3. 眼に入った場合

こすらない、  
すぐに流水で10分以上洗う

勢いよくかからないよう、やかんなどでゆっくり注ぐようにするのが安全

4. 皮膚についた場合

すぐに大量の流水で洗う



・いずれの場合も、手当をおこなっても症状がある時は、  
直ちに医療機関を受診する  
・受診の必要性や応急手当がわからない時には、  
日本中毒情報センター 中毒110番に相談する